

国 語	第3学年 1学期	授業時間数	3時間/週
教科書（発行所）	国語3（光村図書）		

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる。具体的には次のとおり （１）社会生活に必要な国語の特徴を理解し適切に使うことができる。 （２）社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身に付けることができる。 （３）言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上に努めることができる。	
	①知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
	②思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
評価の観点	③主体的に学習に取り組む態度	・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・単元テスト ・定期考査 ・聞き取りテスト ・ワークシートへの記述内容 ・授業観察（ペアワーク・グループワーク） ・言語活動への取り組み ・作品 ・発表内容 ・振り返り活動 など 	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1 学 期	1 深まる学びへ	握手 評価しながら聞く 学びて時に之を思ふ 文章の種類を選んで書こう	登場人物の言動を表す語句に着目し、その意味を考える。 作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。
	2 視野を広げて	作られた「物語」を超えて 説得力のある構成を考えよう 文法への扉 スイカは幾つ必要	文章における具体と抽象の関係を捉える。 論説の特性を踏まえて読み、文章の構成や論理の展開を評価する。
	3 言葉とともに	俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう もっと「伝わる」 言葉1 和語・漢語・外来語 読書を楽しむ 「私の一冊」を探しにいこう	俳句の特徴について理解を深める。 内容や表現の仕方に着目して、俳句を評価しながら読み、考えを深める。

教科名	第2学年 1学期	授業時間数	4時間/週
教科書(発行所)	国語2(光村図書)		

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる。具体的には次の通り</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語の特徴を理解し適切に使うことができる。</p> <p>(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につけることができる。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上に努めることができる。</p>		
評価の観点	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、言語文化に親しんだり、正しく理解したりすることができる。 	
	② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト ・ 単元テスト ・ 定期考査 ・ 聞き取りテスト ・ 振り返り活動 ワークシートへの記述内容 ・ 授業観察(ペアワーク・グループワーク) 言語活動への取り組み ・ 作品 ・ 発表内容 など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1 学期	1 広がる学びへ	アイスプラネット 枕草子	登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して読む。 登場人物の設定に着目し、人物どうしの関係や、それぞれの考え方を読み取る。 作者の四季に対するものの見方や感じ方に触れる。 自分が感じる四季の趣と比べて、読み味わう。
	2 多様な視点から	クマゼミの増加の原因をさぐる	文章の構成や展開について、理解を深める。 文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読む。
	3 言葉と向き合う	短歌に親しむ 短歌を味わう 言葉の力	筆者のものの見方や表現の仕方などを読み味わい、感想を書く。 本や文章には、様々な考え方が書かれていることを知る。 文章を読み、知識や経験と結び付けて考えたことを伝え合う。

国語	第1学年 1学期	授業時間数	4時間/週
教科書(発行所)	国語1(光村図書)		

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる。具体的には次の通り</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語の特徴を理解し適切に使うことができる。</p> <p>(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につけることができる。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上に努めることができる。</p>		
評価の観点	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、言語文化に親しんだり、正しく理解したりすることができる。 	
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていく。 	
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしていくしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト ・ 単元テスト ・ 定期考査 ・ 聞き取りテスト ワークシートへの記述内容 ・ 授業観察(ペアワーク・グループワーク) 言語活動への取り組み ・ 作品 ・ 発表内容 ・ 振り返り活動 など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1 学 期	言葉に出会うために	野原はうたう	気持ちが伝わるように声に出して読む。
	1 学びをひらく	シンシュン 情報を的確に聞き取る 情報を整理して書こう	心情や行動を表す語句に注意して読む。 場面の展開に沿って、登場人物の関係の変化をとらえる。
	2 新しい視点で	ダイコンは大きな根? ちょっと立ち止まって 話の構成を工夫しよう 文法への扉1	筆者の主張と事例との関係を理解する。 段落のまとまりに着目し、文章の要旨をとらえる。
	3 言葉に立ち止まる	詩の世界 比喩で広がる言葉の世界 言葉1 指示する語句と接続する語句 言葉を集めよう	詩の言葉を読み味わい、語感をみがく。 詩の情景を想像し、表現の効果について考える。 比喩について理解し、言葉についての考えを深める。

社会	第3学年 1学期	授業時間数	4時間/週
教科書（発行所）	新しい社会 歴史（東京書籍）	新しい社会 公民（東京書籍）	

学習目標	<p>(1)課題を追求したり解決したりする活動を通して、社会的事象について調べたり、考えたりすることができる。</p> <p>(2)広い視野をもって平和で民主的な社会を担う人として必要な力を身につける。</p>		
評価の観点	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象について、その意義や特色、相互の関連、基本的用語などの知識を身につけている。 様々な資料を収集・選択をして、それをもとに調べまとめることができる。 	
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象から課題をみつけ、多面的・多角的に考え公正に判断し、結論を導き出し、まとめたり発表したりできる。 	
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決を視野に、よりよい社会の実現に向けて、意欲的に追究、解決しようとしている。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察（班活動、話し合いや学び合いの様子、発表、発言） ワークシートの内容 ・ 振り返りシート ・ ノート（まとめ、整理） 定期考査 ・ 小テスト ・ 課題（取組のようす） など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	○二度の世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦と日本 大正デモクラシーの時代 世界恐慌と日本の中国侵略 	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦が起こった原因を調べまとめる。 民主主義の高まりについて理解する。 日中戦争への動きと経済情勢との関連を考える。
	○現代の日本と私たち	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦 戦後日本の出発 冷戦と日本の発展 新たな時代の日本と世界 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦の原因とその影響について調べ、まとめる。 戦後の諸改革が日本の政治や社会に与えた影響を調べ、まとめる。 冷戦の中、日本が経済成長を遂げた理由について考える。 よりよい社会を創るために必要なことについて考え、意見をまとめる。
	○現代社会と私たち	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の特色と私たち 現代社会の見方や考え方 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会には、どのような課題があるか調べる。 私たちの生活で、文化が大切にされる理由について考える。 現代社会の課題の解決方法について、「対立と合意」「効率と公正」の視点から、その見方や考え方を理解する。

社会	第2学年 1学期	授業時間数	3時間/週
教科書（発行所）	中学生の地理（帝国書院）	新しい社会	歴史（東京書籍）

学習目標	(1) 課題を追求したり解決したりする活動を通して、社会的事象について調べたり、考えたりすることができる。 (2) 広い視野をもって平和で民主的な社会を担う人として必要な力を身につける。		
評価の観点	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象について、その意義や特色、相互の関連、基本的用語などの知識を身につけている。 様々な資料を収集・選択をして、それをもとに調べまとめることができる。 	
	② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象から課題を見つけ、多面的・多角的に考え公正に判断し、結論を導き出し、まとめたり発表したりできる。 	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決を視野に、よりよい社会の実現に向けて、意欲的に追究、解決しようとしている。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察（班活動、話し合いや学び合いの様子、発表、発言） ワークシートの内容 ・ 振り返りシート ・ ノート（まとめ、整理） 定期考査 ・ 小テスト ・ 課題（取組のようす） など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1 学 期	○身近な地域の調査	<ul style="list-style-type: none"> 調査テーマを決め、方法を考え、調査を行う 調査を深めて結果を発表する 	<ul style="list-style-type: none"> 調査の視点や方法を理解し、読図や地図の作成などの技術を身につける。 調査の結果をまとめ、多角的・多面的に考察し、表現する。
	○日本の地域的特色	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形と海岸や海洋の特色 日本の気候と自然災害 日本の人口 日本の資源・エネルギーと電力 日本の農業・林業・漁業とその変化 日本の工業・商業・サービス業 日本の交通網・通信網 さまざまな地域区分 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形や気候、国土の特色、自然災害と防災などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する。 少子高齢化や過疎・過密の問題などを基に、人口に関する特色を理解する。 資源・エネルギー利用の現状や産業の動向、課題などを基に、資源・エネルギーと産業に関する特色を理解する。 日本と世界の交通・通信網、物流や人の往来などを基に、国内の結びつきや世界との結びつきを理解する。 上記のことを関連付けながら多角的・多角的に考察し、表現する。
	○近世の日本	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の成立と対外政策 産業の発展と幕府政治の動き 	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の支配が約260年も続いた理由を調べ、まとめる。 産業や文化が発達し、都市が繁栄する中で、なぜ幕府は改革をせまられたのかを考え、まとめる。

社会	第1学年 1学期	授業時間数	3時間/週
教科書（発行所）	中学生の地理（帝国書院） 新しい社会 歴史（東京書籍）		

学習目標	(1)課題を追求したり解決したりする活動を通して、社会的事象について調べたり、考えたりすることができる。 (2)広い視野をもって平和で民主的な社会を担う人として必要な力を身につける。		
評価の観点	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象について、その意義や特色、相互の関連、基本的用語などの知識を身につけている。 様々な資料を収集・選択をして、それをもとに調べまとめることができる。 	
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象から課題を見つけ、多面的・多角的に考え公正に判断し、結論を導き出し、まとめたり発表したりできる。 	
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決を視野に、よりよい社会の実現に向けて、意欲的に追究、解決しようとしている。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察（班活動、話し合いや学び合いの様子、発表、発言） ワークシートの内容 ・ 振り返りシート ・ ノート（まとめ、整理） 定期考査 ・ 小テスト ・ 課題（取組のようす） など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	○世界と日本の地域構成	<ul style="list-style-type: none"> 世界の姿 日本の姿 	<ul style="list-style-type: none"> 緯度・経度、地図の特徴などを理解し、地図などを活用して大陸名や国名を調べる。 時差や領域など、さまざまな角度から日本の姿を調べる。
	○世界のさまざまな地域	<ul style="list-style-type: none"> 人々の生活と環境 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の気候帯を理解し、世界のさまざまな地域の生活のようすについてまとめ、発表する。
	○古代までの日本	<ul style="list-style-type: none"> 世界の古代文明と宗教のおこり 日本列島の誕生と大陸との交流 	<ul style="list-style-type: none"> 人類の出現・進化と世界の文明・宗教についてまとめる。 日本列島が誕生し、大陸文化との交流により発展した日本のようすについてまとめる。
	○世界のさまざまな地域	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域（アジア州） 	<ul style="list-style-type: none"> アジア州の自然環境・産業を、日本と関連づけながらまとめる。

数学	第3学年 1学期	授業時間数	4時間/週
教科書(発行所)	未来へひろがる 数学3(啓林館)		

学習目標	<p>(1) 身のまわりの事象についてのきまりや法則をみつけたり、それを数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。</p> <p>(2) 数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、よりよく問題解決しようとするすることができる。</p>		
評価の観点	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 数学の学習で使用する言葉や法則を、今までに習ったことと関連付けて理解することができる。 計算方法を理解し、正確に答えを求めることができる。 	
	② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの事柄を数学を用いて調べ、数学的な表現を用いて分かりやすくまとめることができる。 	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学を使って問題を解くことのよさを実感し、向上心をもって粘り強く考えることができる。 自分の考え方を振り返って、よりよく解決しようと努力している。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察(話し合い活動・発表) ノート 振り返り活動 課題 定期テスト 小テスト など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動の例
1学期	1章 式の展開と因数分解 1節 式の展開と因数分解	<ul style="list-style-type: none"> 式の乗法、除法 乗法の公式 	<ul style="list-style-type: none"> $(2a + b) \times 5a = 10a^2 + 5ab$ $(6a^2 - 9a) \div 3a = 2a - 3$ $(x + a)(x + b) = x^2 + (a + b)x + ab$ $(a + b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$
	2節 式の計算の利用	<ul style="list-style-type: none"> 因数分解 式の計算の利用 	<ul style="list-style-type: none"> $Ma + Mb = M(a + b)$ $17^2 - 13^2$を工夫して計算する。
	2章 平方根 1節 平方根	<ul style="list-style-type: none"> 平方根 平方根の値 有理数と無理数 真の値と近似値 	<ul style="list-style-type: none"> 3の平方根は$\pm\sqrt{3}$である。 $\sqrt{3}$のおよその値を求める。 数を有理数と無理数に分類する。 測定して得られた値を分かりやすく表す。 $\sqrt{5} \times \sqrt{6} = \sqrt{30}$ $\sqrt{15} \div \sqrt{3} = \sqrt{5}$
	2節 根号をふくむ式の計算 3節 平方根の利用	<ul style="list-style-type: none"> 根号をふくむ式の乗法、除法 根号をふくむ式の計算 平方根の利用 	<ul style="list-style-type: none"> $4\sqrt{2} + 3\sqrt{2} = 7\sqrt{2}$ $(\sqrt{2} + \sqrt{3})^2 = 5 + 2\sqrt{6}$ 半径10cmの円の2倍の面積になる円の半径を求める。
3章 二次方程式 1節 二次方程式	<ul style="list-style-type: none"> 二次方程式とその解き方 	<ul style="list-style-type: none"> $x^2 = 9$を解くと $x = \pm 3$ 	<ul style="list-style-type: none"> $x^2 = 5$を解くと $x = \pm\sqrt{5}$

数学	第2学年 1学期	授業時間数	3時間/週
教科書（発行所）	未来へひろがる 数学2（啓林館）		

学習目標	<p>(1) 身のまわりの事象についてのきまりや法則をみつけたり、それを数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。</p> <p>(2) 数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、よりよく問題解決しようとするすることができる。</p>		
評価の観点	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 数学の学習で使用する言葉や法則を、今までに習ったことと関連付けて理解することができる。 計算方法を理解し、正確に答えを求めることができる。 	
	② 思考・判断 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの事柄を数学を用いて調べ、数学的な表現を用いてわかりやすくまとめることができる。 	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学を使って問題を解くことよさを実感し、向上心をもって粘り強く考えることができる。 自分の考え方を振り返って、よりよく解決しようと努力している。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察（話し合い活動・発表） ノート 振り返り活動 課題 定期テスト 小テスト など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動の例
1学期	1章 式の計算 1節 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> 式の加法、減法 いろいろな多項式の計算 単項式の乗法、除法 文字式の利用 	<ul style="list-style-type: none"> $(5a + 3b) + (2a + 5b) = 7a + 8b$ $(3a - 6b) - (2a + 4b) = a - 10b$ $5(x + 3y) - 3(2x - 5y + 1)$ $= -x + 30y - 3$ $\frac{3x+2y}{2} - \frac{2x-y}{3} - \frac{5x+8y}{6}$ $4x \times (-2y) = -8xy$ $-6ab \div 2a = -3b$ 2けたの整数がもっている性質などを文字式を使って証明する。
	2章 連立方程式 1節 連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> 連立方程式とその解 連立方程式の解き方 	<ul style="list-style-type: none"> $\begin{cases} 2x + y = 21 \\ x + y = 13 \end{cases}$ の解は $(x, y) = (8, 5)$ である。 加減法・代入法を使い、連立方程式を解く。 実際の問題を連立方程式を利用して解決する。
	2節 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> 連立方程式の利用 	

数学	第1学年 1学期	授業時間数	4時間/週
教科書(発行所)	未来へひろがる 数学1 (啓林館)		

学習目標	(1) 身のまわりの事象についてのきまりや法則を見つけたり、それを数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。 (2) 数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、よりよく問題解決しようとするすることができる。		
評価の観点	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 数学の学習で使用する言葉や法則を、今までに習ったことと関連付けて理解することができる。 計算方法を理解し、正確に答えを求めることができる。 	
	② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの事柄を数学を用いて調べ、数学的な表現を用いて分かりやすくまとめることができる。 	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学を使って問題を解くことよさを実感し、向上心をもって粘り強く考えることができる。 自分の考え方を振り返って、よりよく解決しようと努力している。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察(話し合い活動・発表) ノート 振り返り活動 課題 定期テスト 小テスト など 		

学期	単元・課題	学習内容	学習活動の例
1 学期	1章 正の数・負の数 1節 正の数・負の数	<ul style="list-style-type: none"> 0より小さい数 正の数・負の数で量を表すこと 	<ul style="list-style-type: none"> 0より小さい数を-6と表す。 -5個多い⇔5個少ない
	2節 正の数・負の数の計算	<ul style="list-style-type: none"> 絶対値と数の大小 正の数・負の数の加法、減法 正の数・負の数の乗法、除法 	<ul style="list-style-type: none"> -3の絶対値は3 $-5 < 3$ $-2 > -3$ $(-12) + (-7) = -19$ $(-8) - (-3) = -5$ $7 \times (-5) = -35$ $(-8) \times (-5) = 40$ $(-12) \div 6 = -2$ $(-28) \div (-4) = 7$
	3節 正の数・負の数の利用	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな計算 数の世界のひろがり 正の数・負の数の利用 	<ul style="list-style-type: none"> $3^2 = 9$ $(-3)^2 = 9$ $3 - (-2) \times 5 = 13$ 72を素因数分解すると$2^3 \times 3^2$ 正の数・負の数を使って平均を求める。
1 学期	2章 文字の式 1節 文字を使った式	<ul style="list-style-type: none"> 数量を文字式で表すこと 	<ul style="list-style-type: none"> 100円硬貨x枚と10円硬貨y枚をあわせた金額は、$100 \times x + 10 \times y$(円)と表す。
	2節 文字式の計算	<ul style="list-style-type: none"> 文字式の表し方 式の値 文字式の加法、減法 文字式と数の乗法、除法 関係を表す式 	<ul style="list-style-type: none"> $a \times b = ab$ $a \div b = \frac{a}{b}$ $a \times 2 = 2a$ $x = 2$のとき、$6 - 4x$の値は-2 $-3x + 2x = -x$ $7x - x = 6x$ $2x \times 5 = 10x$ $6x \times (-3) = -18x$ $12x \div 3 = 4x$ 「ある数xから3をひくと、5以下である。」を不等式で表すと、$x - 3 \leq 5$
1 学期	3章 方程式 1節 方程式	<ul style="list-style-type: none"> 方程式とその解 方程式の解き方 	<ul style="list-style-type: none"> 等式$4x - 7 = 5$を、成り立たせるxの値を考える。 $3x + 20 = 5$を解くと $x = -5$

理科	第3学年 1学期	授業時間数	4時間/週
教科書（発行所）	未来へひろがるサイエンス3（啓林館）		

学習目標	<p>○生物のふえ方や成長、遺伝、生物の種類の多様性と進化、電流が流れる水溶液とイオンとの関係など、生命や物質に関係することを科学的に探究するために必要な知識や技能を身につける。</p> <p>(1) 生物の成長や生殖、遺伝、進化、電流を流す水溶液とイオンとの関係に関する基本的な内容が理解できる。</p> <p>(2) 顕微鏡などの器具を正しく操作し、安全に観察・実験を行うことができる。</p> <p>(3) 学習の中で見つけた課題に対して観察・実験を行い、その結果から規則性や関係性などを見いだすことができる。</p>		
評価の観点	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 生物のふえ方や成長、遺伝のしくみ、生物の進化について理解している。 電流が流れる水溶液とイオンとの関係について理解している。 顕微鏡や電気分解装置などの器具を正しく操作し、観察・実験を行うことができる。 	
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 学習した知識をもとに、遺伝のモデル実験を計画し探究することができる。 セキツイ動物の5つのなかまの特徴から共通点を見だし、進化と関連づけて考えることができる。 水溶液を電気分解する実験を行い、水溶液の中で起きた変化を見だし、イオンと関連づけて説明することができる。 	
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 体細胞分裂の観察や水溶液の電気分解などの観察・実験に積極的に参加し、結果をまとめたり発表したりすることができる。 グループでの話し合い活動において、積極的に自分の考えを発表したり友達の考えを聞いたりして、科学的に探究しようとしている。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察（班活動、話し合いのようす、発表、発言） 定期テスト ワークシートへの記述の内容 パフォーマンステスト <ul style="list-style-type: none"> 章ごとの小テスト 観察や実験のレポート 自己評価シート <p style="text-align: right;">など</p>		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	生命の連続性	生物のふえ方と成長	<ul style="list-style-type: none"> 無性生殖と有性生殖のしくみについて学ぶ。 顕微鏡でタマネギの根の体細胞分裂を観察し、スケッチする。 体細胞分裂と減数分裂について学ぶ。 遺伝の規則性や子や孫に現れる形質について学ぶ。 親から子へ、子から孫へ遺伝するしくみについて学ぶ。 遺伝子の本体（DNA）について学ぶ。 遺伝子を用いた科学技術について学ぶ。 セキツイ動物の共通点について学ぶ。 生物の進化について学ぶ。 生物が進化する過程で変化した器官や起源が同じ体のつくりについて学ぶ。 水にとかすと電気が流れる物質について実験を通して学ぶ。 電流が流れる水溶液の中で起こる変化について学ぶ。（水溶液の電気分解） 原子の構造とイオンのでき方について学ぶ。 電流が流れる水溶液の中には、イオンが存在していることを学ぶ。
		遺伝の規則性と遺伝子	
		生物の種類の多様性と進化	
	化学変化とイオン	水溶液とイオン	

理科	第2学年 1学期	授業時間数	4時間/週
教科書（発行所）	未来へひろがるサイエンス2（啓林館）		

学習目標	<p>○生物のからだのつくりやはたらき、物質を加熱して分解したときの変化など、生命や物質に関係することを科学的に探究するために、必要な知識や技能を身につける。</p> <p>(1) 生物のからだのつくりやはたらき、物質の熱分解に関する基本的な内容が理解できる。</p> <p>(2) 顕微鏡などの器具を正しく操作し、安全に観察・実験を行うことができる。</p> <p>(3) 学習の中で見つけた課題に対して観察・実験を行い、その結果から規則性や関係性などを見いだすことができる。</p>		
評価の観点	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 植物や動物のからだのつくりとはたらきを理解している。 炭酸水素ナトリウムを分解したときの変化について理解している。 顕微鏡やガスバーナーなどの器具を正しく操作し、観察・実験を行うことができる。 	
	② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 生物のからだのはたらきについて条件を変えて実験を行い、その結果を生物のからだのつくりと関連づけて説明することができる。 図に示された現象を、学習した知識をもとに科学的に考えることができる。 物質を分解する実験を行い、その結果から物質に起こった変化を見だし、説明することができる。 	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 生物のからだのつくりやはたらき、物質の分解についての観察・実験に積極的に参加し、結果をまとめたり発表したりすることができる。 グループでの話し合い活動において、積極的に自分の考えを発表したり友達の考えを聞いたりして、科学的に探究しようとしている。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察（班活動、話し合いのようす、発表、発言） 定期テスト ワークシートへの記述の内容 パフォーマンステスト <ul style="list-style-type: none"> 章ごとの小テスト 観察や実験のレポート 自己評価シート <p style="text-align: right;">など</p>		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	生物のからだのつくりとはたらき	<p>生物のからだの成り立ち</p> <p>植物のからだのつくりとはたらき</p> <p>動物のからだのつくりとはたらき</p> <p>動物の行動のしくみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単細胞生物と多細胞生物について学ぶ。 顕微鏡で細胞を観察し、スケッチする。 動物と植物の細胞の特徴について学ぶ。 細胞のはたらきについて学ぶ。 光合成と呼吸のしくみを学ぶ。 光合成や呼吸に関する実験をする。 顕微鏡で根や茎、葉の断面を観察する。 蒸散について学ぶ。 だ液のはたらきを調べる実験をする。 食物が消化、吸収されるしくみを学ぶ。 肺のつくりと呼吸について学ぶ。 腎臓のしくみとはたらきについて学ぶ。 血液の成分とはたらき、血液が流れる道すじについて学ぶ。 刺激を受け取る器官について学ぶ。 刺激を受け取ってから反応するまでの道すじについて学ぶ。
	化学変化と原子・分子	物質を加熱したときの変化	<ul style="list-style-type: none"> 炭酸水素ナトリウムを分解する実験をする。 炭酸水素ナトリウムを加熱して分解したときの変化について学ぶ。

理科	第1学年 1学期	授業時間数	3時間/週
教科書（発行所）	未来へひろがるサイエンス1（啓林館）		

学習目標	<p>○いろいろな生物の共通点や相違点、生物の分類、身の回りの物質の性質など、生命や物質に関係することを科学的に探究するために必要な知識や技能を身につける。</p> <p>(1) 身近な生物の共通点や相違点、生物の分類、身の回り物質の性質について基本的な内容が理解できる。</p> <p>(2) 顕微鏡やガスバーナーなどの器具を正しく操作し、安全に観察・実験を行うことができる。</p> <p>(3) 学習の中で見つけた課題に対して観察・実験を行い、その結果から規則性や関係性などを見い出すことができる。</p>		
評価の観点	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生物の共通点と相違点を理解し、正しく分類することができる。 ・有機物と無機物、金属と非金属の性質について理解している。 ・顕微鏡やガスバーナーなどの器具を正しく操作し、観察・実験を行うことができる。 	
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの生物のからだの観察を通して、共通点や相違点を見だし、説明することができる。 ・図に示された生物を、学習した知識をもとに分類することができる。 ・3種類の白い物質と謎の物質Xの性質を調べる実験を行い、その結果から、謎の物質Xの性質を科学的に説明することができる。 	
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの生物のからだの観察に積極的に参加し、その共通点や相違点を見つけてまとめたり、発表したりすることができる。 ・身のまわりの物質の性質を調べる実験に積極的に参加し、結果をまとめたり発表したりすることができる。 ・グループでの話し合い活動において、積極的に自分の考えを発表したり友達の考えを聞いたりして、科学的に探究しようとしている。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察（班活動、話し合いのようす、発表、発言） ・定期テスト ・ワークシートへの記述の内容 ・パフォーマンステスト <ul style="list-style-type: none"> ・章ごとの小テスト ・観察や実験のレポート ・自己評価シート <p style="text-align: right;">など</p>		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	自然の中にあふれる生命	身のまわりの生物の観察	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の生物を観察し、スケッチする。 ・顕微鏡で水中の微生物を観察し、スケッチする。 ・身のまわりにいる生物を、その特徴をもとになかまわけをし、発表する。 ・種子をつくる植物の花のつくりとはたらきについて学ぶ。 ・種子をつくる植物の子葉や葉、根のつくりについて学ぶ。 ・種子をつくらない植物について学ぶ。 ・植物の分類について学ぶ。 ・動物のからだのつくりと生活のしかたとの関係について学ぶ。 ・背骨がある動物の特徴について学ぶ。 ・背骨のない動物の特徴について学ぶ。 ・動物の分類について学ぶ。 ・ガスバーナーの使い方について学ぶ。 ・有機物と無機物について学ぶ。 ・金属と非金属について学ぶ。
	いろいろな生物とその共通点	植物の特徴と分類	
	身のまわりの物質	動物の特徴と分類	
		いろいろな物質とその性質	

音楽	第3学年 1学期	授業時間数	1時間/週
教科書（発行所）	中学生の音楽2・3上下（教育芸術社）、器楽（教育芸術社）		

学習目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>		
評価の観点	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統音楽の学習を通して、音楽の多様性について理解することができる。 ギターの特徴を知り、ふさわしい音色や奏法を工夫して演奏することができる。 歌唱にふさわしい発声や姿勢を意識し、情景を思い浮かべながら、言葉を大切に表現豊かに歌うことができる。 	
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 声や楽器の音色、言葉の抑揚、旋律、リズム、速度などの特徴を感じ取りながら、日本の伝統音楽のよさを味わうことができる。 旋律やリズムなどの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、創作、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 実技テスト ・ 授業プリント ・ ワークシートへの記述内容 ・ 定期考査 授業観察（個人練習、グループ活動） ・ 振り返り活動 ・ 課題 など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	歌唱	花 早春賦 花の街	<ul style="list-style-type: none"> 情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌う。 情景を思い浮かべながら、表現豊かに歌う。 詩や曲の背景を理解し、そこにこめられた思いを生かして歌う。
	器楽	ギター	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の特徴を知り、ふさわしい音色や奏法を工夫して演奏する。
	創作	リズムパターンをつくろう	<ul style="list-style-type: none"> 拍子にあったリズムパターンを考え、音符で表現する。
	鑑賞	日本の伝統音楽	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わう。

音楽	第2学年 1学期	授業時間数	1時間/週
教科書（発行所）	音楽のおくりもの 中学音楽2・3上（教育出版）、器楽（教育芸術社）		

学習目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>	
	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> パイプオルガンの音色や、フーガの特徴を知ることができる。 ピアノやチェンバロ、パイプオルガンのそれぞれの特徴を理解する。 アルトリコーダーで、曲に合った息使いやタンギングで演奏することができる。 歌唱にふさわしい発声や姿勢を意識し、パートの役割を感じながら歌うことができる。 拍子にあったリズムパターンを考え、音符で表現することができる。
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 旋律が追いかけてながら発展していくフーガの特徴に気づくことができる。 旋律や強弱などの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱や器楽、創作、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 実技テスト ・ 授業プリント ・ ワークシートへの記述内容 ・ 定期考査 授業観察（個人練習、グループ活動） ・ 振り返り活動 ・ 課題 など 	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1 学 期	歌唱	浜辺の歌 花の街	<ul style="list-style-type: none"> 曲の形式を生かして表現を工夫する。 歌詞のまとまりやフレーズを生かして表現を工夫する。
	器楽	アルトリコーダー	<ul style="list-style-type: none"> パートの役割を感じ取りながら、豊かな響きになるように工夫して演奏する。
	創作	リズムパターンをつくろう	<ul style="list-style-type: none"> 拍子にあったリズムパターンを考え、音符で表現する。
	鑑賞	小フーガト短調	<ul style="list-style-type: none"> 旋律が追いかけるように重なり合っていくおもしろさを味わう。

音楽	第1学年 1学期	授業時間数	1.25時間/週
教科書（発行所）	音楽のおくりもの1（教育出版）、器楽（教育出版）		

学習目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけようとする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>		
評価の観点	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ソネットと曲想との関わりに気づくことができる。 リトルネッコ形式による曲の構成を聴き取ることができる。 アルトリコーダーで、曲に合った息使いやタンギングで演奏することができる。 歌唱にふさわしい発声や姿勢を意識し、パートの役割を感じながら歌うことができる。 拍子にあったリズムパターンを考え、音符で表現することができる。 	
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> リトルネッコ部とエピソード部が交互に現れるリトルネッコ形式の特徴に気づくことができる。 旋律や強弱などの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感じたこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、創作、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 実技テスト ・ 授業プリント ・ ワークシートへの記述内容 ・ 定期考査 授業観察（個人練習、グループ活動） ・ 振り返り活動 ・ 課題 など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	歌唱	アニーローリー 夏の思い出 くいしんぼうのラップ	<ul style="list-style-type: none"> 強弱や音域を意識して表現する。 曲想を感じ取り、形式を生かして表現を工夫する。 全体の構成を理解して表現を楽しむ。
	器楽	アルトリコーダー	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの音色と奏法との関わりを理解したり、タンギングや左手を使った基本的な奏法を身につけたりしながら表現する。
	創作	リズムパターンをつくろう	<ul style="list-style-type: none"> 拍子にあったリズムパターンを考え、音符で表現する。
	鑑賞	春	<ul style="list-style-type: none"> 曲想の変化を形式やソネットと関わらせながら鑑賞する。

美術	第3学年 1学期	授業時間数	1時間/週
教科書（発行所）	美術2・3上下 学びの実感と広がり，学びの探求と未来（日本文教出版）		

学習目標	<p>(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができる。</p> <p>(2) 美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を深めたりできる。</p> <p>(3) 創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。</p>		
	①知識・技能	授業で学んだことを理解し、意図に応じて材料や用具を生かしたり、表現方法を工夫したりして作品に表すことができる。	
	②思考・判断・表現	作品の主題を生み出し、豊かに発想して構想を練ったり、自分の作品や自分以外の作品を自分なりに批評したりすることができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	意欲的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心をもつことができる。	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業観察 ・ アイデアスケッチ ・ ワークシート ・ 振り返り活動 ・ 鑑賞プリント ・ 作品 ・ 定期考査 など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	オリエンテーション	美術の学習内容	学習内容について知り、1年間の見通しをもつ。
	遠近法	一点透視図法・二点透視図法・空気遠近法の理解	一点透視図法・二点透視図法を用いてワークシートに図を描く。 美術資料で空気遠近法について理解をする。
	トリックアート	視点が変わると絵が動くトリックアートの制作	ワークシートにアイデアスケッチをして色鉛筆で色を塗る。
	だまし絵・トリックアート（鑑賞）	エッシャーの作品やトリックアートの鑑賞	エッシャーのだまし絵の鑑賞をする。 様々な種類のトリックアートを鑑賞して、制作のヒントを見つける。

美術	第2学年 1学期	授業時間数	1時間/週
教科書(発行所)	美術2・3上下 学びの実感と広がり、学びの探求と未来(日本文教出版)		

学習目標	<p>(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができる。</p> <p>(2) 美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を深めたりできる。</p> <p>(3) 創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。</p>		
評価の観点	①知識・技能	授業で学んだことを理解し、意図に応じて材料や用具を生かしたり、表現方法を工夫したりして作品に表すことができる。	
	②思考・判断・表現	作品の主題を生み出し、豊かに発想して構想を練ったり、自分の作品や自分以外の作品を自分なりに批評したりすることができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	意欲的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心をもつことができる。	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・アイデアスケッチ ・ワークシート ・振り返り活動 ・鑑賞プリント ・作品 ・定期考査 など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	オリエンテーション	美術の学習内容	学習内容について知り、1年間の見通しをもつ。
	スクラッチアート	スクラッチ板にニードルで絵を描く 描いた線に色を塗る	ワークシートでハッチングの技術を学ぶ。 スクラッチアートの作り方を学び、ニードルを使って絵を描く。 スクラッチ板に絵の具で色を塗る。
	印象派の画家たち(鑑賞)	印象派の作品鑑賞	印象派の画家の作品を鑑賞し、印象派の表現技法について知る。 新印象派であるスーラの絵画を鑑賞し、印象派との違いを知る。

美術	第1学年 1学期	授業時間数	1.25時間/週
教科書(発行所)	美術1 美術との出会い(日本文教出版)		

学習目標	<p>(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫できる。</p> <p>(2) 美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。</p> <p>(3) 創造活動の喜びを味わい、楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。</p>		
評価の観点	①知識・技能	授業で学んだことを理解し、意図に応じて材料や用具を生かしたり、表現方法を工夫したりして作品に表すことができる。	
	②思考・判断・表現	作品の主題を生み出し、豊かに発想して構想を練ったり、自分の作品や自分以外の作品を自分なりに批評したりすることができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	意欲的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心をもつことができる。	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・アイデアスケッチ ・ワークシート ・振り返り活動 ・鑑賞プリント ・作品 ・定期考査 など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1 学 期	オリエンテーション	美術の学習内容	学習内容について知り、1年間の見通しをもつ。
	色彩の学習	色彩についての基礎的な知識や技能	学習プリントで色彩の基礎を理解する。三原色のみを用いて色相環や、彩度・明度の表を絵の具で色を塗る。
	レタリングの学習	明朝体・ゴシック体の特徴やレタリングの基礎	明朝体・ゴシック体の特徴や書き方について学ぶ。自分の名前をレタリングして、色鉛筆で色を塗る。
	絵文字のデザイン	文字と絵を組み合わせたオリジナルの絵文字	ワークシートにアイデアスケッチを描き、色鉛筆で色を塗る。 画用紙に絵文字のデザインを描き、絵の具で色を塗る。
	ルネサンスの三大巨匠(鑑賞)	ルネサンスの名画の鑑賞	ルネサンスについて知り、その時代の画家や作品について理解する。

保健体育	第3学年 1学期	授業時間数	3時間/週
教科書(発行所)	新しい保健体育(東京書籍)		

学習目標	<p>(1) 各種の運動の特性に応じた技能を理解し、身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解し、実践することができる。</p> <p>(2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて考え判断することができる。また、それを他者に伝えることができる。</p> <p>(3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活をしていく態度を養うことができる。</p>		
評価の観点	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの運動の特性に合った技能や、健康・安全について理解することができる。基本的な技能を身に付けることができる。 	
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 運動・健康について課題を発見し、それらを合理的に解決していくために考え、判断することができる。また、それらを他者に伝えることができる。 	
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、積極的に参加する、一人一人の違いを大切にすることができる。 心身の健康を保持し、高めていこうとする態度で臨むことができる。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 スキルテスト 保体資料ノート 振り返りシート 定期考査 など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	体づくり運動	体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画	<ul style="list-style-type: none"> ストレッチや、トレーニングなど、自己の体力に応じた課題をもった運動を行う。集団行動について学ぶ。
	陸上競技	短距離走 リレー 幅跳び	<ul style="list-style-type: none"> クラウチングスタートからのスムーズな加速走の練習。 バトンの受け渡し練習。 助走、踏切、空中動作の練習。
	球技	ベースボール型 ゴール型	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な動作・用語を覚える。基本的な技能を習得する。ルールを覚え、試合をする。
	保健	健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> 環境への適応能力、活動に適する環境、飲料水の衛生的管理、室内の空気の衛生的管理、生活に伴う廃棄物の衛生的管理について学習する。

保健体育	第2学年 1学期	授業時間数	3時間/週
教科書(発行所)	新しい保健体育(東京書籍)		

学習目標	<p>(1) 各種の運動の特性に応じた技能を理解し、身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解し、実践することができる。</p> <p>(2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて考え判断することができる。また、それを他者に伝えることができる。</p> <p>(3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活をしていく態度を養うことができる。</p>		
評価の観点	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの運動の特性に合った技能や、健康・安全について理解することができる。基本的な技能を身に付けることができる。 	
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 運動・健康について課題を発見し、それらを合理的に解決していくために考え、判断することができる。また、それらを他者に伝えることができる。 	
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、積極的に参加する、一人一人の違いを認めようとするすることができる。 心身の健康を保持し、高めていこうとする態度で臨むことができる。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 スキルテスト 保体資料ノート 振り返りシート 定期考査 など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	体づくり運動	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動	<ul style="list-style-type: none"> ストレッチや、トレーニングなど、自己の体力に応じた課題をもった運動を行う。集団行動について学ぶ。
	陸上競技	短距離走 リレー 幅跳び	<ul style="list-style-type: none"> クラウチングスタートからのスムーズな加速走の練習。 バトンの受け渡し練習。 助走、踏み切り、空中動作の練習。
	球技	ネット型	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な動作・用語を覚える。基本的な技能を習得する。ルールを覚え、試合をする。
	保健	傷害の防止	<ul style="list-style-type: none"> 傷害の発生要因、交通事故の発生要因、交通事故の危険予測と回避、犯罪被害の防止、自然災害による危険、自然災害による傷害の防止について学習する。

保健体育	第1学年 1学期	授業時間数	3時間/週
教科書(発行所)	新しい保健体育(東京書籍)		

学習目標	<p>(1) 各種の運動の特性に応じた技能を理解し、身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解し、実践することができる。</p> <p>(2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて考え判断することができる。また、それを他者に伝えることができる。</p> <p>(3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活をしていく態度を養うことができる。</p>		
評価の観点	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの運動の特性に合った技能や、健康・安全について理解することができる。 基本的な技能を身に付けることができる。 	
	② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 運動・健康について課題を発見し、それらを合理的に解決していくために考え、判断することができる。また、それらを他者に伝えることができる。 	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、積極的に参加する、一人一人の違いを認めようとするすることができる。 心身の健康を保持し、高めていこうとする態度で臨むことができる。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 スキルテスト 保体資料ノート 振り返りシート 定期考査 など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	オリエンテーション	保健体育の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 保健体育の学習について知る。
	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動 体の動きを高める運動 	<ul style="list-style-type: none"> ストレッチや、トレーニングなど、自己の体力に応じた課題をもった運動を行う。集団行動について学ぶ。
	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> 短距離走 リレー 幅跳び 	<ul style="list-style-type: none"> クラウチングスタートからのスムーズな加速走の練習。 バトンの受け渡し練習。 助走、踏み切り、空中動作の練習。
	球技	ネット型	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な動作・用語を覚える。基本的な技能を習得する。ルールを覚え、試合をする。
	保健	健康な生活と疾病の予防	<ul style="list-style-type: none"> 健康の成り立ちと疾病の発生要因、運動と健康、食生活と健康、休養・睡眠と健康、調和のとれた生活について学ぶ。

技術	第3学年1学期	授業時間数	0.5時間/週
教科書(発行所)	新しい技術・家庭 技術分野(東京書籍)		

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造することができる。
------	---

評価の観点	①知識・技能	生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能を身につけている。
	②思考・判断・表現	生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決することができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に情報の技術を工夫することができる。
評価の方法	・授業態度 ・自己評価 ・レポート ・発表 ・作品 ・実技テスト ・定期テスト ・ワークシート など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	4編 情報に関する技術	コンピュータの構成、情報を処理する仕組み	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知る。
	第1章 情報の技術の原理・法則の仕組み	ネットワークの安全性とセキュリティ 情報モラルと知的財産	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知る。 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える。
	第2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	じゃんけんプログラムの作成	<ul style="list-style-type: none"> メディアの特徴と利用方法を知り、製作品を設計する。 多様なメディアを複合し、表現、発信をする。
	第3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決	課題に合わせたプログラムの作成	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る。 情報処理の手順を考え、簡単なプログラムを作成する。

技術	第2学年 1 学期	授業時間数	1 時間/週
教科書（発行所）	新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍）		

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造することができる。
------	---

評価の観点	①知識・技能	生活や社会で利用されている生物育成の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能を身につけることができる。
	②思考・判断・表現	生活や社会の中から生物育成の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決することができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に生物育成の技術を工夫することができる。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・自己評価 ・レポート ・発表 ・作品 ・実技テスト ・定期テスト ・ワークシート など 	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1 学期	2 編 生物育成の技術	生物育成の技術とは何だろう	<ul style="list-style-type: none"> ・生物を育てる技術の目的について理解する。
	第1章 生物育成の技術の原理・法則と仕組み	生物の育成環境を調節する技術 作物の成長を管理する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の育成環境を調節する技術について理解する。 ・成長を管理する技術とその目的について考える。
	第2章 生物育成の技術による問題解決	成長段階に合わせて適切に育成しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の成長の様子などを適切に観察し、記録する。 ・植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う。
	第3章 社会の発展と生物育成の技術	これからの生物育成の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの生物育成の技術について考える。

技術	第1学年1学期	授業時間数	1時間/週
教科書(発行所)	新しい技術・家庭 技術分野(東京書籍)		

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造することができる。
------	---

評価の観点	①知識・技能	製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる。
	②思考・判断・表現	材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決できる。
	③主体的に学習に取り組む態度	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとすることができる。
評価の方法	・授業態度 ・自己評価 ・レポート ・発表 ・作品 ・実技テスト ・定期テスト ・ワークシート など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	1編 材料と加工の技術	身の回りの材料と加工の技術	・身の回りの製品で使われている材料と加工技術を調べ、まとめる。
	第1章 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	木材・金属・プラスチックの特性 材料に適した加工方法	・木材・金属・プラスチックなどの特性を生かした利用方法について理解する。 ・目的とする加工に応じた工具や機器について理解する。
	第2章 材料と加工の技術による問題解決	等角図・第三角法による正投影図	・製作に必要な図の書き方を理解し、図に表すことができる。

家庭	第3学年 1学期	授業時間数	0.5時間/週
教科書(発行所)	新しい技術・家庭 家庭分野(東京書籍)		

学習目標	(1) 幼いころを振り返り、周囲の人との関わり大切さに気づくことができる。 (2) 幼児の体と心の発達と特徴について理解できる。 (3) 幼児の一日の生活の特徴が理解できる。 (4) 幼児の生活習慣とその習得を支える家族の役割がわかる。 (5) 幼児にとっての遊びの大切さがわかり、幼児との関わり方を工夫できる。		
評価の観点	①知識・技能	・幼児の発達と生活の特徴がわかる。 ・幼児にとっての遊びの意義と関わり方がわかる。	
	②思考・判断・表現	・幼児との関わり方の問題を見つけ、その中から課題を決め、解決策を考えて実践・改善しながら、考察したことを文章で表現することができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題解決に向けて取り組み、改善・実践しようとしている。	
評価の方法	・授業態度 ・課題 ・プリント ・レポート ・発表 ・振り返り活動 ・定期テスト ・ワークシートへの記述 など		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	5編 私たちの成長と 家族・地域 2章 幼児の生活と家 族	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の頃を振り返る ・ 幼児の体の発達 ・ 幼児の心の発達 ・ 幼児の1日の生活 ・ 支えられて身につける生活習慣 ・ 幼児の生活と遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の幼いころの振り返りと周囲の人との関わりについて考える。 ・ 幼児の体の発達の特徴について知る。 ・ 幼児の心の発達の特徴について知る。 ・ 幼児の1日の生活の特徴について知る。 ・ 幼児の生活習慣とその習得を支える家族の役割について知る。 ・ 幼児にとっての遊びの意義と幼児への関わり方について知る。

家庭	第2学年 1学期	授業時間数	1時間/週
教科書(発行所)	新しい技術・家庭 家庭分野(東京書籍)		

学習目標	(1) 栄養素の種類・働き、食品の栄養的な特徴がわかる。 (2) 中学生の1日に必要な食品の種類と量を考えた1日分の献立作成の方法がわかり、課題を見つけ改善しようとする力を身に付ける。 (3) 食品の特徴を考えた調理の方法を知り、1食分の日常食を調理することができる。			
評価の観点	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 健康に良い食習慣がわかる。 栄養素の種類と働きを知り、食品の栄養的な特徴がわかる。 中学生の1日に必要な食品の種類と量を知り、献立作成の方法がわかる。 		
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 中学生の1日分の献立について問題を見つけ、その中から課題を決め、解決策を考えながら、考察したことを文章で表現することができる。 		
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現に向け、中学生の栄養的課題を見つけ、改善・工夫・創造し、実践しようとしている。 家族や地域の人々とよりよい生活の実現に向け、日常食の調理・地域の食文化の課題解決に向けて取り組み、改善・実践しようとしている。 		
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 振り返り活動 	<ul style="list-style-type: none"> 課題 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> プリント ワークシートへの記述 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 発表 など

単元・題材	学習内容	学習活動
1編 私たちの食生活 1章 食事の役割と中学生の栄養の特徴	<ul style="list-style-type: none"> どうして食事をするか 私たちの食生活 栄養素ってなんだろう 中学生に必要な栄養 食品に含まれる栄養素 何をどれだけ食べるか バランスよい献立作り 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で食事が果たす役割について知る。 健康に良い食習慣について知る。 栄養素の種類とはたらきについて知る。 中学生に必要な栄養の特徴について知る。 身近な食品の栄養的特徴について知る。 6つの食品群の特徴と食品の種類と概量について知る。 献立作成の手順を知り、一日分の献立を作成する。
2章 調理のための食品の選択と購入	<ul style="list-style-type: none"> 食品の選択と購入 生鮮食品の特徴 加工食品の特徴 食品の保存と食中毒防止 	<ul style="list-style-type: none"> 食品の選択と購入のために必要な情報について知る。 生鮮食品の特徴や表示の内容について知る。 加工食品の特徴や表示の内容について知る。 食品の適切で安全な扱い方について知る。
3章 日常食の調理と地域の食文化	<ul style="list-style-type: none"> 日常食の調理 	<ul style="list-style-type: none"> 安全と食品の特徴から実践可能な1食分の調理の計画をする。

家庭	第1学年 1学期	授業時間数	1時間/週
教科書（発行所）	新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍）		

学習目標	(1) 自分や家族を支える家庭内外の仕事を知り、中学生の自分にできることが工夫できる。 (2) 家族と地域の人々と共に協力・協働することの大切さが理解できる。 (3) 住まいの役割と、家族の生活と住空間の関係がわかる。 (4) 日本の住まいの特徴や住まいと気候風土の関係がわかる。 (5) 健康で快適な室内環境の整え方が理解できる。 (6) 自分の住む地域の災害の危険性を知り、備え工夫しようとする。		
評価の観点	①知識・技能	・住居の基本的機能がわかり、家族の安全を考えた住空間の整え方がわかる。	
	②思考・判断・表現	・家族の安全を考えた住空間の整え方の問題を見つけ、その中から課題を決め、解決策を考えて実践・改善しながら、考察したことを文章で表現することができる。	
	③主体的に学習に取り組む態度	・家族や地域の人々とよりよい生活の実現に向け、住居の機能と安全な住まい方について、課題解決に向けた改善策を考え、実践しようとしている。	
評価の方法	・授業態度	・課題	・プリント ・レポート ・発表 ・振り返り活動 ・定期テスト ・ワークシートへの記述 など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1学期	3編 私たちの住生活 1章 住まいの役割と安全な住まい方	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいがなかったら ・住まいと気候風土 ・健康で快適な室内環境 ・住まいの安全・安心 ・災害への対策 ・持続可能な住生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・家の役割と家族生活との関係について知る。 ・日本の住まいの特徴と気候風土の関係について知る。 ・健康で快適な室内環境と整え方の工夫の仕方を考える。 ・家庭内事故の予防・対策を考えて暮らし方の工夫を考える。 ・自分の住む地域の災害の危険性について知る。 ・持続可能な住生活を送るための工夫を考える。
	5編 私たちの成長と家族・地域 1章 家族・家庭と地域	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活と家族・家庭の機能 ・中学生としての自立 ・家庭生活と地域の関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を支える家族・家庭の機能について知る。 ・自分や家族を支える家庭内外の仕事を知る。 ・地域の幼児や高齢者などの自分と異なる立場の存在との協力・協働することの大切さを知る。

英語	第3学年 1学期	授業時間数	4時間/週
教科書(発行所)	NEW CROWN ENGLISH SERIES 3		

学習目標	<p>(1) ことばを使って理解し、表現し伝え合いながら実際のコミュニケーションで活用できる英語力の育成。</p> <p>(2) 読む、聞く、書く、話す(やりとり・発表)の4技能5領域(以下の5点)の統合的育成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な文章や表示、掲示を理解することができる。 ・簡単な文や指示を理解することができる。 ・身近なことについて簡単な文を使って話したり、質問したりすることができる。 ・自分のことについて、簡単な文やメモを書くことができる。 ・自分のことについて、簡単な文で紹介したり、やりとりしたり、発表することができる。 		
評価の観点	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことにおける実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけている。 	
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。 	
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・①②を獲得するために、自己調整しながら、粘り強く学習に取り組んでいる。外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・単元テスト ・定期考査 ・リスニングテスト ・スピーキングテスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの記述内容 ・振り返り活動 ・スキット作り ・授業観察(ペアワーク・グループワーク) ・言語活動への取り組み ・課題(自分なりに工夫した取り組みなど) など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1 学期	Starter Power of Music Best Music of All Time	説明文を読む	曲を紹介する記事を読む。(分かったことをメモにまとめる)
	L1 【音楽の持つ力】 Stand by Me	現在完了進行形	現在完了進行形で表現し、聞き、読み、理解する。世界の中学生に聞いてほしい曲を、その理由など加えて紹介する。
	TL1 避難訓練のアナウンス	必要な情報を聞き取る	避難訓練のアナウンスを聞いて、自分が必要とする情報を聞き取る。
	TT1 おすすめの場所は?	即興で伝え合う	おすすめの場所について対話する。
	L2 【インドの言語と文化】 Languages in India	受け身形	受け身形で表現し、聞き、読み、理解する。海外の人に使ってほしい日本語とその理由などを説明するメッセージを書く。
	TL2 旅行の行き先の相談	要点をとらえる	旅行の行き先についての話し合いを聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取る。
	TT2 どうしてそう思うの?	事実や考えを整理して伝え合う	修学旅行の自由行動や遠足の行き先について話し合う。
	RI1 オンラインショップの商品紹介	必要な情報を読み取る	ストップウォッチの商品説明を読んで、自分が必要とする情報を読み取る。
	L3 【広島原爆・平和】 The Story of Sadako	後置修飾	後置修飾で表現し、聞き、読み、理解する。日本語を勉強している人におすすめの日本語の本とその理由などを説明するメッセージを書く。
	TL3 ボイスメッセージ	必要な情報を聞き取る	ボイスメッセージを聞いて、自分が必要な情報を聞き取る。
	TT3 野球と言えば	即興で伝え合う	好きなスポーツなどについて対話する。
G1 I am glad to~	I am glad to~	状態や気持ちを表現する。	

英語	第2学年 1学期	授業時間数	4時間/週
教科書(発行所)	NEW CROWN ENGLISH SERIES 2		

学習目標	(1) ことばを使って理解し、表現し伝え合いながら実際のコミュニケーションで活用できる英語力の育成。 (2) 読む、聞く、書く、話す(やりとり・発表)の4技能5領域(以下の5点)の統合的育成。 <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な文章や表示、掲示を理解することができる。 ・簡単な文や指示を理解することができる。 ・身近なことについて簡単な文を使って話したり、質問したりすることができる。 ・自分のことについて、簡単な文やメモを書くことができる。 ・自分のことについて、簡単な文で紹介したり、やりとりしたり、発表することができる。 		
評価の観点	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことにおける実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけている。 	
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。 	
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・①②を獲得するために、自己調整しながら、粘り強く学習に取り組んでいる。外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・単元テスト ・定期考査 ・リスニングテスト ・スピーキングテスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの記述内容 ・振り返り活動 ・スキット作り ・授業観察(ペアワーク・グループワーク) ・言語活動への取り組み ・課題(自分なりに工夫した取り組みなど) 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1 学期	Starter	紹介文を読む	おすすめの本の紹介文を読む。
	L1【イギリス文学】 Peter Rabbit	接続詞	接続詞(when/if/that)を使って表現し、聞き、読み、理解する。「ピーターラビットのおはなし」を、場面や登場人物の気持ちが伝わるように朗読する。
	TL1 図書館案内	必要な情報を聞き取る	図書館の利用案内を聞いて、必要な情報を聞き取る。
	TT1 どんなストーリーなの？	即興で伝え合う	週末の予定について、質問や情報を付け加えながら会話する。
	G1 試着してもいいですか。	May I ~?	ペアで、してもよいか許可を求めたり、応じたりして会話する。
	L2【自分の将来像・将来の夢】 My Dream	to 不定詞	to 不定詞で表現し、聞き、読み、理解する。コンテストで賞をとったスピーチの原稿を読んで、その要点を把握する。
	TL2 チャリティーのお知らせ	要点をとらえる	チャリティーについての説明を聞いて、話し手の伝えたいことを聞き取る。
	TT 2 それはいい案だね	事実や考えを整理して伝え合う	ボランティア活動や遠足の行き先について話し合う。
	G2 写真をとることは楽しい	It is...(for A) to~.	環境、健康、平和から1つ選んで会話する。
	RI 施設の利用案内	必要な情報を読み取る	ウォーターパークの利用案内を読んで、自分が必要とする情報を読み取る。
L3【自然科学・社会貢献活動】 Every Drop Counts	There is (are) 動名詞	There is(are) や動名詞で表現し、聞き、読み、理解する。即興で町紹介のスピーチをする。	
G3 魚釣りをしてはいけません	must /must not	must/must not の表現を使う。	

英語	第1学年 1学期	授業時間数	4時間/週
教科書（発行所）	NEW CROWN ENGLISH SERIES 1		

学習目標	<p>(1) ことばを使って理解し、表現し伝え合いながら実際のコミュニケーションで活用できる英語力の育成。</p> <p>(2) 読む、聞く、書く、話す（やりとり・発表）の4技能5領域（以下の5点）の統合的育成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な文章や表示、掲示を理解することができる。 ・簡単な文や指示を理解することができる。 ・身近なことについて簡単な文を使って話したり、質問したりすることができる。 ・自分のことについて、簡単な文やメモを書くことができる。 ・自分のことについて、簡単な文で紹介したり、やりとりしたり、発表することができる。 		
	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことにおける実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけている。 	
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。 	
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・①②を獲得するために、自己調整しながら、粘り強く学習に取り組んでいる。外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・単元テスト ・定期考査 ・リスニングテスト ・スピーキングテスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの記述内容 ・振り返り活動 ・スキット作り・授業観察（ペアワーク・グループワーク） ・言語活動への取り組み ・課題（自分なりに工夫した取り組みなど）など 		

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
1 学 期	Starter 1~3	英語の文字と音 コミュニケーションを楽しもう	アルファベット、身近な単語（月、日、曜日、教科、習い事、1日の生活の表現、町の施設や建物）を聞いたり話したりする。
	L1 About Me	好きなことや趣味など お互いのことを知る	I, You に使う be 動詞（肯定・否定・疑問文）、一般動詞（肯定・否定・疑問文）で自分を伝える文を話したり、書いたりする。
	G1 What food	What food ~?	相手が好きな食べ物、色、教科などをたずねて答える。
	L2【国際交流】 English camp	助動詞 can I can/I cannot	助動詞 can(できる)で表現し、聞き、読み、理解する。自分と友達ができることについて紹介文を書く。
	G2 How many~	How many~?	いくらあるのか数をたずねる。（数字 1~1000）
L3【異文化】 Our New Friend	is（肯定・否定・疑問文） 何？誰？人称代名詞	This/That に使う be 動詞（肯定・否定・疑問文）、What is this? Who is~? I like him/her.を聞いたり、話したり、書いたりする。	